

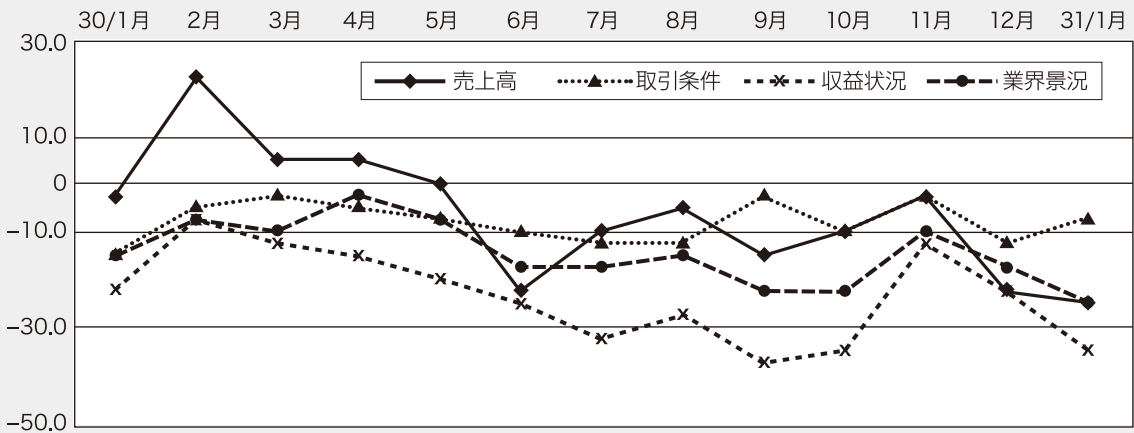


業界の今!

情報連絡員報告より
1月の業界の動き

◆ 平成31年1月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	増減
売上高	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-2.5
取引条件	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	5.0
収益状況	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-12.5
業界景況	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-7.5

概要

平成31年1月の前年同月比DI値の推移は前月に比べ、「取引条件」は5.0ポイント改善しているが、「売上高」が2.5ポイント、「収益状況」は12.5ポイント、「業界景況」は7.5ポイント悪化となった。

原材料や燃料の高騰により、売上が増えても、収益が伸びないとの声が多く、また、人材不足も変わらず課題となっている。消費税増税に伴う消費の低迷も心配されており、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

原油価格が上昇してきており、収益面においては厳しい状況が続くと思われる。(石油)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	醤油味噌	先の台風21号、24号による被害の後遺症が未だに続いており、営業活動に支障をきたしている。購入取扱商品の値上げがあり、対応に苦慮している。市場価格競争の為、販売価格に転嫁できない。市場は落ち込んでおり、諸対策に苦慮している。
	繊維工業	衣料縫製	加工賃等、未だ変わらず大変厳しい現状である。中小企業の業況をもっと把握して欲しい。
	一般機器	伊勢	1月は正月休みもあり、元々稼働日数は少ないが、それ以上に売上高の減少が大きくなった。大手受注先が米中貿易摩擦の影響を懸念し、先行きの見通しを引き下げ、在庫調整したことによるものと考えている。
非製造業	小売業	石油	1月の燃料油販売数量は前年対比7%前後の減販状況であった。特に燃料油における灯油については、幾分寒さの影響により前年数量に近い状況であったが、販売数量については燃料全体では厳しい状況であった。原油価格についてはOPECと非OPECの協調減産の影響を受け、原油価格が上昇してきており、今後各元売の製品値上げにおいて燃料販売の影響と収益面においては、厳しい状況が続くと思われる。
	サービス業	警備	業者の年始休暇で稼働日数が減少した分、売上も減少した。
	運輸業	トラック	ドライバーの労働時間の改善及び人材確保が課題である。

【P8「チャレンジ!! 組合士」の解答】

【解答】イ=K □=L ハ=F ニ=J ホ=O